

温室効果ガス削減アクションプログラム

第二計画期間

温室効果ガス削減計画書等作成支援ツール

操作マニュアル

【一般事業者（事業所）】

2025 年 4 月

仙台市

目次

ツール概要.....	1
<削減計画書作成時の操作手順>	
操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順.....	2
操作2:電気事業者及び排出係数の入力.....	4
操作3:「計算シート(基準年度)」シート入力時の操作手順.....	6
操作4:「事業所排出量内訳(基準年度)」シート入力時の操作手順.....	7
操作5:「計画書①(事業所概要・目標)」シート入力時の操作手順.....	13
操作6:「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順.....	14
操作7:「計画書③(任意記載)」シート入力時の操作手順.....	15
<削減報告書作成時の操作手順>	
操作1:「はじめに」シート入力時の操作手順.....	16
操作2:電気事業者及び排出係数の入力.....	17
操作3:「計算シート(第1～第3年度)」シート入力時の操作手順.....	18
操作4:「事業所排出量内訳(第1～3年度)」シート入力時の操作手順.....	19
操作5:「報告書①(事業所概要・実績)」シート入力時の操作手順.....	25
操作6:「報告書②(取組)」シート入力時の操作手順.....	26
操作7:「報告書③(任意記載)」シート入力時の操作手順.....	31

ツール概要

本ツールは、一般事業者が温室効果ガス削減アクションプログラムにおいて、計画書・報告書での温室効果ガス排出量算定や削減計画等の作成を支援するものです。本マニュアルに記載の順に作業を進めていただくと、スムーズに計画書・報告書を作成することが可能です。

シートの色ごとに作業が分かれています。

- ・黄色シート→まずこのシートから操作します。
- ・青色シート→削減計画書作成時に操作します。
- ・緑色シート→削減報告書提出時に操作します。
- ・赤色シート→基本的に操作はしませんが、評価点を確認することができます。

<削減計画書作成時の操作手順>

<削減計画書作成時の操作手順>

操作 1:「はじめに」シート入力時の操作手順

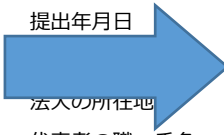
1.「はじめに」シートの入力欄(水色)にデータを入力します。

計画書	計画期間	2023 年度 ~ 2025 年度
	基準年度	2022 年度
	提出年月日	年 月 日
届出者	法人の名称	
	法人の所在地	
	代表者の職・氏名	
	代理者の職・氏名	
該当要件	条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/> ①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所口
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/> ②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量
	条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/> ③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者
	一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/> ④任意提出事業者
事業所の概要	事業所の名称	
	事業所の所在地	〒 - 月 日
	産業分類番号	
	事業の概要	
担当者	所属部署	
	住所	〒 - 月 日
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメールアドレス	
報告書	提出対象年度	第 年度
	提出年月日	年 月 日

計画書提出時にはこの項目は入力不要です。

2. 「Enter」キーを押下し入力データが確定するとセルの色が水色から白色に変わります。

入力項目を確認し、次の操作に進んでください

計画期間	2023	年度	～	2025	年度	計画期間	2023	年度	～	2025	年度
基準年度	2022	年度				基準年度	2022	年度			
提出年月日	2023	年	4	月	2	提出年月日	2023	年	4	月	2
法人の名称	株式会社 ○○物産						株式会社 ○○物産				
法人の所在地											
代表者の職・氏名											
代理者の職・氏名											
条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が					条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/>	①原油換算エネルギー使用量が		
条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除く				条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/>	②エネルギー起源CO2を除く			
条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を				条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/>	③市内に100台以上の自動車を			
一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者				一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/>	④任意提出事業者			

操作 2：電気事業者及び排出係数の入力

契約している“電気事業者”及びその電気事業者からの“排出係数”は「事業所排出量内訳（基準年度）」シートの下記に示す赤枠に入力します。

“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した情報を転記します。
「排出係数検索ツール」の使い方については、P. 5 に示します。

温室効果ガス排出量内訳 基準年度（2022年度）

非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）排出量

燃料の種類	使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス（LPG）				t		
都市ガス				千m ³		
その他						
産業用以外の蒸気				GJ		
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他（）						
小計	-	-	-	-	-	0
非化石燃料						
その他（）						
小計	-	-	-	-	-	0
電気事業者からの買電				千kWh		
経路別買電量（F kWh）				千kWh		
夜間買電量（F kWh）				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
小計	0	0	0	千kWh		0

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂ e)
非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）	
メタン（CH ₄ ）	
一酸化二窒素（N ₂ O）	
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	
パーフルオロカーボン（PFC）	
六フッ化硫黄（SF ₆ ）	
三フッ化窒素（NF ₃ ）	
合計	

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂ e)
合計	

4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	
単位	
数値	

1. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）排出量

熱量合計	0 GJ
排出熱量	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	0 GJ		
非化石燃料・非化石熱			
熱量合計（電気以外）	0 GJ		

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	0 kWh		

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

4. 温室効果ガス排出量

排出量単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
温水		
冷水		
その他の名称	換算係数	排出係数

5. その他の名称

その他の名称	換算係数
--------	------

電気事業者からの買電	経路別買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	経路別排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
電気事業者名						
合計			0%		0	0

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA		100%			3,600		
自己託送（非燃料由来の非化石電気）		100%			3,600		
上記以外の自己託送					8,640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
						8,640	
						8,640	
						8,640	
						8,640	
合計	0	0%		0			

自家発電	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光		3,600
水力		3,600
風力		3,600
その他（非燃料由来の非化石）		3,600
合計	0	

<排出係数ツールの使い方>

電気事業者名 入力欄		該当数	0件
---------------	--	-----	----

電気事業者名	調整後排出係数 (t-CO ₂ /千kWh)

※赤枠にキーワードを入力し Enter キー押下にて検索結果が緑枠に表示されます。

電気事業者名 入力欄	東京電力 ①	該当数	15件
---------------	--------	-----	-----

電気事業者名	調整後排出係数 (t-CO ₂ /千kWh)
東京電力エナジーパートナー(株)メニューA	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューB	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューC	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューD	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューE	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューF	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューG	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューH	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューI	0.000
東京電力エナジーパートナー(株)メニューJ	0.000

<「事業所排出量内訳(基準年度)」シート>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
合計			0%		0	0

- ①電気事業者名欄へ検索するキーワードを入力し Enter キー押下します。
- ②該当の電気事業者名をコピーし「事業所排出量内訳(基準年度)」シートへ移動します。
- ③事業所排出量内訳(基準年度)」シートの電気事業者名欄へ電気事業者名を貼付けます。
- ④排出係数ツールへ戻り、調整後排出係数をコピーし「事業所排出量内訳(基準年度)」シートへ移動します。
※環境に配慮した再エネメニューを契約した覚えがなければ、(残差)と記載されたメニューを選択してください
- ⑤「事業所排出量内訳(基準年度)」シートの排出係数欄へ調整後排出係数を貼付けます。
- ⑥操作3の③(P.6)で入力する「計算シート(基準年度)」シートの合計値が転記されます。

操作 3：「計算シート（基準年度）」シート入力時の操作手順

（参考）エネルギー使用量計算シート

燃料		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
揮発油（ガソリン）	[リットル]													
灯油	[リットル]													
軽油	[リットル]													
A重油	[リットル]													
B・C重油	[リットル]													
液化石油ガス（LPG）	[kg]													
都市ガス	[m³]													

	k l
	k l
	k l
	k l
	k l
	t
	千m³

電気[kWh]		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	昼間買電													
	夜間買電													
	昼間買電													
	夜間買電													
	昼間買電													
	夜間買電													
	昼間買電													
	夜間買電													
	昼間買電													
	夜間買電													

	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh
	千kWh

① 各月毎の使用量を燃料別に入力します。

※車両に使用した燃料は計上しないでください。

② 「事業所排出量内訳(基準年度)」シートで記入した電気事業者が転記されます。

③ 各月毎の電気使用量を入力します。

操作 4:「事業所排出量内訳 (基準年度)」シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度)

非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
都市ガス				千m ³		
その他 (1)						
小計	-	-	-	-	-	0

非化石燃料						
その他 (1)						

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千kWh		
経路買電 (千kWh)				千kWh		
夜間買電 (千kWh)				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石				千kWh		
小計	0	0	0	千kWh	0	0

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合計	

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	削減量 (t-CO ₂)
合計	

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	0 GJ		
非化石燃料・非化石熱	0 GJ		
熱損失 (電気以外)	0 GJ		

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	0 kWh		

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

4. 原単位の指標

排出原単位	0 t-CO ₂ /
-------	-----------------------

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		
湯水		
冷水		
その他の名称	換算係数	排出係数
その他の名称	換算係数	

電気事業者からの買電	経路買電 (千kWh)	夜間買電 (千kWh)	うち非化石 (%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	経路排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
電気事業者名						
合計			0%		0	0

上記以外の買電		買電量 (千kWh)	うち非化石石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
オフサイト型PPA			100%			3.600	
自己託送（非燃料由来の非化石電気）			100%			3.600	
上記以外の自己託送						8.640	

その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
						8.640	0
						8.640	0
合計		0	0%		0		0

完電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電			

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千kWh)
太陽光		3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他 (非燃料由来の非化石)		3.600
合計	0	

※赤枠欄へデータを入力します。赤枠欄へデータ入力しても、セルの色は変化しませんので、ご注意ください。

拡大図<1>

温室効果ガス排出量内訳 基準年度 (2022年度)

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
化石燃料・熱	揮発油 (ガソリン)				kl		
	灯油				kl		
	軽油				kl		
	A 重油	①			kl		
	B・C 重油				kl		
	液化石油ガス (LPG)				t		
	都市ガス				千m ³		
	その他	②	④				
	産業用以外の蒸気				GJ		
	温水				GJ		
	冷水				GJ	⑤	
	その他 ()						
小 計		-	-	-	-	0	0
非化石燃料・熱	③	③	④				
	その他 ()					⑥	
	小 計	-	-	-	-	0	0

- ①操作3で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。
- ②その他の燃料を使用している場合はプルダウンリスト(燃料の種類列の水色セル)から燃料を選択し、使用量を入力します。
- ③非化石燃料及び熱を使用している場合はプルダウンリスト(燃料の種類列の水色セル)から燃料を選択し、使用量を入力します。
- ④外部からの供給量がある場合に入力します。
- ⑤化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”“排出量”を入力します。
- ⑥非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”を入力します。

拡大図＜2＞

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		⑦
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
⑧		

その他の名称	換算係数
⑨	

- ⑦産業用蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出係数”を入力します。
- ⑧化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。
- ⑨非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”を入力します。

拡大図＜3＞

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
⑩	⑪			⑩		
合計			0%		0	0

- ⑩契約している“電気事業者”とその電気事業者からの“うち非化石割合（任意入力）”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は操作2のとおり「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP.5に示します。
- ⑪操作3の③（P.6）で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。

※“電気事業者からの買電”の“うち非化石”欄は、小売電気事業者のメニューごとの非化石割合を入力します。（任意入力）

【非化石割合の確認方法】

- ①非化石エネルギー100%メニューや再生可能エネルギー100%メニューの場合
“うち非化石”欄には「100%」と入力します。

②通常の電力小売り契約（残差メニュー等）の場合

当該電気事業者の非化石証書の使用状況（残差により作成した非化石証書の使用状況）を元に、下記 計算式により非化石割合を算出し、“うち非化石” 欄に入力します。非化石証書の使用状況については、小売電気事業者のホームページで円グラフなどによってパーセンテージが示されています。

〈非化石割合の算出方法〉

電気事業者の非化石証書の使用状況を A% とすると、下記計算式により算出できます。

$$\text{非化石割合（\%）} = A + (100 - A) \times 0.13$$

拡大図＜4＞

上記以外の買電		買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)
オフサイト型PPA		⑫				3.600	
自己託送（非燃料由来の非化石電気）						3.600	
上記以外の自己託送			⑬			8.640	
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)
			⑭			8.640	0
合計		0	0%		0	8.640	0

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電		⑮		

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)
太陽光		3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他（非燃料由来の非化石）		3.600
合計	0	

⑫上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量” を入力します。

⑬上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数” を入力します。

⑭上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数” を入力します。

⑮自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数” を入力します。

⑯自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量” を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電	電気事業者からの買電	0.00		0.00	千kWh	0.00	
	昼間買電量(千kWh)			⑰	千kWh		
	夜間買電量(千kWh)				千kWh		0
	うち非化石	0		0	千kWh		
気	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石			⑱	千kWh		
	自家発電買電				千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計		0		0	千kWh		
小 計					千kWh		0

⑰「計算シート（基準年度）」の合計値が転記されます。

⑱ ⑩と⑫～⑬で入力した合計値が転記されます。

拡大図<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）	
メタン（CH ₄ ）	
一酸化二窒素（N ₂ O）	
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	⑲
パーフルオロカーボン（PFC）	
六フッ化硫黄（SF ₆ ）	
三フッ化窒素（NF ₃ ）	
合 計	

⑲エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、“排出量”を入力します。

拡大図<7>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
合 計	

②0

拡大図<8>

4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	
単位	
数値	

②1

②0クレジット等による削減量がある場合、“クレジット等の種類”と“排出量”を入力します。

②1原単位の指標となる“名称”“単位”“数値”を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

操作 5：「計画書①（事業所概要・目標）」シート入力時の操作手順

事業者温室効果ガス削減計画書（第二計画期間）

1 事業所の概要

事業者の名称	
事業所の名称	
事業所の所在地	①
主たる業種	

2 温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る目標

2023 年度 (基準年度)	温室効果ガスの排出の状況	基準排出量	t-CO ₂ /基準原単位	t-CO ₂ /
2025 年度 (目標年度)	温室効果ガス 排出抑制に係る 目標	目標排出量	t-CO ₂ /目標原単位	t-CO ₂ /
		削減率	% 削減率	%
	非化石エネルギー の使用目標割合 (任意入力)	非化石電気	% その他 非化石エネ ルギー等	%
目標設定の考 え方	⑥			

- ①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。
- ②「事業所排出量内訳（基準年度）」シートから転記されます。
- ③最終年度時の“目標排出量”及び“目標原単位”を入力します。
- ④基準の排出量に対して目標排出量の削減率が表示されます。
- ⑤非化石電気及びその他非化石エネルギー等の“使用目標割合”を入力します。（任意で入力）
- ⑥③で記載した最終年度時の目標排出量及び目標原単位に関して、“目標設定の考え方”を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

操作 6：「計画書②(取組)」シート入力時の操作手順

3の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。	①	
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的に実施し、実施記録を残している。		

拡大図

実施状況 (基準年度)	実施	実施予定
実施済		第1年度
未実施		第2年度
非該当		第3年度
		予定なし

- ① 3の1（基本対策）の実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。
基本対策は全項目の入力が必須です。

拡大図

3の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	②		②	
2				

3の2 重点的に実施する取組の実施計画（選択対策）

番号	項目	対策内容
1		
2		外部機関による省エネ診断 生産性管理 エネルギー消費機器管理台帳の整備 管理標準（管理マニュアル）の整備 エネルギー使用量の見える化（前年度比較） エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見） ボイラー、工業炉の空気比の把握・管理 ボイラーの熱効率の把握・管理 ボイラーの運転効率管理 ボイラーの給水及びブローの管理 蒸気圧力・温度・供給量の管理 使用しない蒸気配管の閉止
3		
4		

- ② 3の2（選択対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。
選択対策は任意入力です。

3の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）	実施状況 (基準年度)	実施予定
1				
2	③	④	③	

3の3 重点的に実施する取組の実施計画（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容（自由記述）
1		
2		環境マネジメントシステムの導入 SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブと脱炭素経営への取組 従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進 密着教育・学習の実施（従業員以外を対象にしたもの） 廃棄物削減対策の実施 森林の保全・緑化の推進 グリーン調達の実施 カーボンオフセットの実施 ヒートアイランド対策の実施 計画期間以前の温室効果ガスの大規模削減 D.R.（デマンドレスポンス）の実施 市が実施する環境推進事業への参画
3		

- ③ 3の3（その他の対策）の項目、実施状況と実施予定は、プルダウンリストから選択します。
その他の対策は任意入力です。
④ “具体的な取組内容”を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

操作 7：「計画書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 これまで実施した削減対策の実績（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

参考 2 計画期間内に実施を予定している削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施予定 年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

このシートへの入力はい任意です。記載事項がある場合は、赤枠欄へデータを入力します。
また、対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

<削減報告書作成時の操作手順>

<削減報告書作成時の操作手順>

操作 1: 「はじめに」シート入力時の操作手順

計画書	計画期間	2023 年度 ~ 2025 年度	
	基準年度	2022 年度	
届出者	提出年月日	2023 年 6 月 1 日	
	法人の名称	株式会社仙台□□	
	法人の所在地	仙台市〇〇区〇〇町十丁目9番8号	
	代表者の職・氏名	社長 仙台 輝宗	
該当要件	代理者の職・氏名	△△事業所長 仙台 政宗	
	条例第2条第5号イ	<input type="checkbox"/> ①原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所□	
	条例第2条第5号ロ	<input type="checkbox"/> ②エネルギー起源CO2を除くいずれかの物質の温室効果ガス排出量	
	条例第2条第5号ハ	<input type="checkbox"/> ③市内に100台以上の自動車を所有する運送事業者	
	一般事業者	<input checked="" type="checkbox"/> ④任意提出事業者	
事業所の概要	事業所の名称	株式会社 仙台□□ △△事業所	
	事業所の所在地	〒 980 - 9999 仙台市〇〇区〇〇町一丁目3番5号	
	産業分類番号	9 2 9 3	
	事業の概要	その他の事業サービス業	
担当者	所属部署	総務部 施設管理課	
	住所	〒 980 - 0000 仙台市〇〇区〇〇町一丁目3番5号	
	氏名	削減 太郎	
	電話番号	022-111-2222	
	FAX番号	022-111-3333	
	Eメールアドレス	k.hagino@sendai□□.co.jp	
	報告書	提出対象年度	第 年 度
	提出年月日	年 月 日	

報告書の提出対象年度と提出年月日を入力してください。

操作 2：電気事業者及び排出係数の入力

契約している“電気事業者”及びその電気事業者からの“買電量”“排出係数”は、削減計画書作成時の操作 2 と同様に「事業所排出量内訳(第 1～第 3 年度)」シートの下記に示す赤枠に入力します。

“電気事業者”と“排出係数”は「排出係数検索ツール」にて検索した結果を、手動でコピーし、貼り付けてください。「排出係数ツール」の使い方は P.5 に示します。

なお、排出係数検索ツールの使い方については、削減計画書作成時 操作 2 の該当部分をご参照ください。

温室効果ガス排出量内訳 第 1 年度 (2023年度)

非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類	使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油 (ガソリン)				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
重油				kl		
B-C 重油				kl		
液化石油ガス (LPG)				t		
都市ガス				千 m ³		
その他						
事業用以外の電気				GJ		
蒸気				GJ		
熱水				GJ		
その他 ()						
小 計	-	-	-	-	-	0
非化石燃料・熱						
その他 ()						
小 計	-	-	-	-	-	0
電気の種類	使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千 kWh		
経路買電 (千 kWh)				千 kWh		
夜間買電 (千 kWh)				千 kWh		
うち非化石				千 kWh		
上記以外のお買電				千 kWh		
うち非化石				千 kWh		
自家発電電				千 kWh		
自家消費した非化石電気				千 kWh		
うち非化石 小 計	0	0	0	千 kWh	0	0
小 計	0	0	0	千 kWh	0	0

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)	
メタン (CH ₄)	
一酸化二窒素 (N ₂ O)	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	
パーフルオロカーボン (PFC)	
六フッ化硫黄 (SF ₆)	
三フッ化窒素 (NF ₃)	
合 計	

3. クレジット等による削減

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
合 計	

4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	
単位	
数値	

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

熱量合計	0 GJ
原油換算	0 KL
排出量合計	0 t-CO ₂

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	0 GJ		
非化石燃料・非化石熱	0 GJ		
熱量合計 (電気以外)	0 GJ	0 GJ	0%

燃料等の種類	電気使用量	うち非化石電気使用量	非化石割合
電気	0 kWh	0 kWh	0%

2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

3. クレジット等による削減

削減量合計	0 t-CO ₂
-------	---------------------

温室効果ガス総排出量

温室効果ガス総排出量	0 t-CO ₂
------------	---------------------

4. 原単位の指標

排出係数	0 t-CO ₂ /
------	-----------------------

燃料の種類	換算係数	排出係数
事業用以外の電気		
蒸気		
熱水		

その他の名称	換算係数	排出係数

その他の名称

その他の名称	換算係数

電気事業者からの買電	経路買電 (千 kWh)	夜間買電 (千 kWh)	うち非化石 (%) (注 1)	排出係数 (t-CO ₂ /千 kWh)	経路排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
電気事業者名						
合計			0%		0	0

上記以外の買電		買電量 (千kWh)	うち非化石比率(%) (注書き入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (tCO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
オフサイト型PPA			100%			3,600	
自己調達（非燃料由来の非化石電力）			100%			3,600	
上記以外の自己調達						8,640	
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石比率(%) (注書き入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (tCO ₂)	換算係数 (GJ/千kWh)	熱量 (GJ)
						8,640	
						8,640	
	合計	0	0%		0	8,640	

自家発電	売電量 (千 kWh)	換算係数 (GJ/千 kWh)	排出係数 (t-CO ₂ /千 kWh)	排出量 (t-CO ₂)

自家消費した非化石電気	使用量 (千 kWh)	換算係数 (GJ/千 kWh)
太陽光		3,600
水力		3,600
風力		3,600
その他 (非燃料由来の非化石)		3,600
合計	0	

操作 3：「計算シート（第 1～第 3 年度）」シート入力時の操作手順

「はじめに」シートの下部報告年度をプルダウンリストから選択します。

（参考）エネルギー使用量計算シート

第1年度

燃料		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	合計	
揮発油（ガソリン）	[リットル]															k l
灯油	[リットル]															k l
軽油	[リットル]															k l
A 重油	[リットル]															k l
B・C 重油	[リットル]															k l
液化石油ガス（LPG）	[kg]															t
都市ガス	[m³]															千m³

電気[kWh]		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	合計	
	昼間買電															千kWh
	夜間買電															千kWh
	昼間買電															千kWh
	夜間買電															千kWh
②	昼間買電															千kWh
	夜間買電															千kWh
	昼間買電															千kWh
	夜間買電															千kWh
	昼間買電															千kWh
	夜間買電															千kWh

1. 「計算シート（第 1～第 3 年度）」で以下の操作をします。シート内の対応する年度に記入します。

① 各月毎の使用量を燃料別に入力します。

※車両に使用した燃料は計上しないでください。

② 「事業所排出量内訳(第 1～第 3 年度)」シートで記入した電気事業者が転記されます。

③ 各月毎の電気使用量を入力します。

操作 4：「事業所排出量内訳（第 1～3 年度）」シート入力時の操作手順

温室効果ガス排出量内訳

第 1 年度（2023年度）

非公表

1. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）排出量

燃料の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
揮発油（ガソリン）				kl		
灯油				kl		
軽油				kl		
A重油				kl		
B・C重油				kl		
液化石油ガス（LPG）				t		
都市ガス				千m ³		
その他						
産業用以外の蒸気				GJ		
温水				GJ		
冷水				GJ		
その他 ()						
小 計	-	-	-	-	-	0

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）	
メタン（CH ₄ ）	
一酸化二窒素（N ₂ O）	
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	
パーフルオロカーボン（PFC）	
六フッ化硫黄（SF ₆ ）	
三フッ化窒素（NF ₃ ）	
合 計	

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
クレジット等	
合 計	

4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	単位	数値
名称		
単位		
数値		

1. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）排出量

燃料等の種類	熱量内訳	うち非化石熱量	非化石割合
化石燃料・熱	0 GJ	0 GJ	0%
非化石燃料・非化石熱	0 GJ	0 GJ	0%
熱量合計（電気以外）	0 GJ	0 GJ	0%

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	排出量 (t-CO ₂)
排出量合計	0 t-CO ₂

3. クレジット等による削減量

削減量合計	削減量 (t-CO ₂)
削減量合計	0 t-CO ₂

4. 原単位の指標

排出原単位	排出原単位 (t-CO ₂ /)
排出原単位	0 t-CO ₂ /

5. 電気の種類

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千kWh		
経路買電 (千kWh)				千kWh		
夜間買電 (千kWh)				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計	0	0	0	千kWh	0	0
小 計	0	0	0	千kWh	0	0

6. 電気の種類

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千kWh		
経路買電 (千kWh)				千kWh		
夜間買電 (千kWh)				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計	0	0	0	千kWh	0	0
小 計	0	0	0	千kWh	0	0

7. 電気の種類

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千kWh		
経路買電 (千kWh)				千kWh		
夜間買電 (千kWh)				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計	0	0	0	千kWh	0	0
小 計	0	0	0	千kWh	0	0

8. 電気の種類

電気の種類	使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電気事業者からの買電				千kWh		
経路買電 (千kWh)				千kWh		
夜間買電 (千kWh)				千kWh		
うち非化石				千kWh		
上記以外の買電				千kWh		
うち非化石				千kWh		
自家発電電				千kWh		
自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計	0	0	0	千kWh	0	0
小 計	0	0	0	千kWh	0	0

<1>

<5>

<6>

<7>

<8>

<2>

<3>

<4>

※「事業所排出量内訳」シート(緑色)ヘデータを入力します。赤枠欄ヘデータ入力しても、セルの色は変化しませんのでご注意ください。

拡大図<1>

温室効果ガス排出量内訳 第1年度 (2023年度)

1. エネルギー起源二酸化炭素 (CO₂) 排出量

燃料の種類		使用量	外部供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
化石燃料・熱	揮発油 (ガソリン)				kl		
	灯油				kl		
	軽油				kl		
	A重油	①			kl		
	B・C重油				kl		
	液化石油ガス (LPG)				t		
	都市ガス				千m ³		
	②	②	④				
	産業用以外の蒸気				GJ		
	温水				GJ	⑤	
	冷水				GJ		
	その他 ()						
小 計		-	-	-	-	0	0
非化石燃料・熱	③	③	④				
	③						
	その他 ()					⑥	
小 計		-	-	-	-	0	0

- ①操作2で入力した「計算シート」の合計値が転記されます。
- ②その他の燃料を使用している場合はプルダウンリスト(燃料の種類列の水色セル)から燃料を選択し、使用量を入力します。
- ③非化石燃料及び熱を使用している場合はプルダウンリスト(燃料の種類列の水色セル)から燃料を選択し、使用量を入力します。
- ④外部への供給量がある場合に入力します。
- ⑤化石燃料・熱におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”“排出量”を入力します。
- ⑥非化石燃料・熱におけるその他の燃料を使用している場合、“単位”“熱量”を入力します。

拡大図<2>

熱の種類	換算係数	排出係数
産業用以外の蒸気		⑦
温水		
冷水		

その他の名称	換算係数	排出係数
⑧		

その他の名称	換算係数
⑨	

- ⑦産業用以外の蒸気、温水、冷水を使用している場合、“排出係数”を入力します。
- ⑧化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”“排出係数”を入力します。
- ⑨非化石燃料におけるその他の燃料を使用している場合、“名称”“換算係数”を入力します。

拡大図<3>

電気事業者からの買電 電気事業者名	昼間買電量 (千kWh)	夜間買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	昼間排出量 (t-CO ₂)	夜間排出量 (t-CO ₂)
⑩	⑪			⑩		
合計			0%		0	0

- ⑩契約している“電気事業者”と“うち非化石(任意入力)”“排出係数”を入力します。なお、“電気事業者”と“排出係数”は操作2のとおりに「排出係数検索ツール」にて検索した結果を貼り付けます。「排出係数ツール」の使い方はP.5に示します。
- ⑪操作2の③(P.17)で入力した「計算シート(第1～第3年度)」の合計値が転記されます。

※“電気事業者からの買電”の“うち非化石”欄は、小売電気事業者のメニューごとの非化石割合を入力します。(任意入力)

【非化石割合の確認方法】

- ①非化石エネルギー100%メニューや再生可能エネルギー100%メニューの場合
“うち非化石”欄には「100%」と入力します。

②通常の電力小売り契約（残差メニュー等）の場合

当該電気事業者の非化石証書の使用状況（残差により作成した非化石証書の使用状況）を元に、下記 計算式により非化石割合を算出し、“うち非化石” 欄に入力します。非化石証書の使用状況については、小売電気事業者のホームページで円グラフなどによってパーセンテージが示されています。

〈非化石割合の算出方法〉

電気事業者の非化石証書の使用状況を A% とすると、下記計算式により算出できます。

$$\text{非化石割合 (\%)} = A + (100 - A) \times 0.13$$

拡大図＜4＞

上記以外の買電	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)	
オフサイト型PPA	⑫				3.600		
自己託送（非燃料由来の非化石電気）					3.600		
上記以外の自己託送		⑬			8.640		
その他買電	名称	買電量 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	熱量 (GJ)
			⑭			8.640	
						8.640	
合計		0	0%		0		

	売電量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)	排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	排出量 (t-CO ₂)
自家発電		⑮		

自家消費した非化石電気	使用量 (千kWh)	換算係数 (GJ/千 k Wh)
太陽光		3.600
水力		3.600
風力		3.600
その他（非燃料由来の非化石）		3.600
合計	0	

⑫上記以外の買電のうち、オフサイト型 PPA、自己託送（非燃料由来の非化石電気）がある場合、“買電量” を入力します。

⑬上記以外の買電のうち、上記以外の自己託送がある場合、“買電量” “うち非化石” “排出係数” を入力します。

⑭上記以外の買電のうち、その他買電がある場合、“名称” “買電量” “うち非化石” “排出係数” を入力します。

⑮自家発電による実績がある場合、“売電量” “換算係数” “排出係数” を入力します。

⑯自家消費した非化石電気のうち、太陽光、水力、風力、その他（非燃料由来の非化石電気）の使用量がある場合、“使用量” を入力します。

拡大図<5>

電気の種類		使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱量 (GJ)	排出量 (t-CO ₂)
電	電気事業者からの買電	0.00		0.00	千kWh	0.00	
	昼間買電量(千kWh)			⑰	千kWh		
	夜間買電量(千kWh)				千kWh		0
	うち非化石	0		0	千kWh		
気	上記以外の買電				千kWh		
	うち非化石			⑱	千kWh		
	自家発電買電				千kWh		
	自家消費した非化石電気				千kWh		
うち非化石 小 計		0		0	千kWh		
小 計					千kWh		0

⑰「計算シート（第1～第3年度）」の合計値が転記されます。

⑱ ⑩と⑫～⑯で入力した合計値が転記されます。

拡大図<6>

2. エネルギー起源二酸化炭素（CO₂）以外の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの種類	排出量 (t-CO ₂)
非エネルギー起源二酸化炭素（CO ₂ ）	
メタン（CH ₄ ）	
一酸化二窒素（N ₂ O）	⑲
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	
パーフルオロカーボン（PFC）	
六フッ化硫黄（SF ₆ ）	
三フッ化窒素（NF ₃ ）	
合 計	

⑲エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量がある場合、排出量を入力します。

拡大図<7>

3. クレジット等による削減量

クレジット等の種類	排出量 (t-CO ₂)
②①	
合 計	

②①クレジット等による削減量がある場合、クレジット等の種類と“排出量”を入力します。

②②計画書作成時の操作4で「事業所排出量内訳（基準年度）」シートへ入力した“名称”と“単位”は、各報告年度の「事業所排出量内訳」シートへ転記されるため入力不要です。計画期間中は、同一の“名称”と“単位”を使用しますので、報告書作成時に変更しないでください。

②③報告年度における原単位の指標となる“数値”を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

拡大図<8>

4. 原単位の指標

原単位の指標（分母）	
名称	②④
単位	
数値	②⑤

操作 5：「報告書①（事業所概要・実績）」シート入力時の操作手順

1 事業所の概要

事業者の名称	①
事業所の名称	
事業所の所在地	
主たる業種	

2 温室効果ガスの排出の状況等

基準年度	2022 年度	基準排出量	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	2025 年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
		目標削減率	%	② 目標削減率	%
	非化石エネルギーの使用目標割合 (任意入力)	非化石電気	%	③ その他 非化石エネルギー等	%
第1年度	2023 年度	排出量	t-CO ₂	③ 原単位	t-CO ₂ /
		削減率	%	④ 削減率	%
	非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	⑤ その他 非化石エネルギー等	%
排出量等の増減理由	⑥				

①「はじめに」シートで入力した内容が転記されます。

②計画書作成時に入力した内容が転記されます。

③操作 3 で入力した内容が転記されます。

④基準の排出量に対して各年度の削減率が表示されます。

⑤操作 3 で入力した内容が転記されます。

⑥各年度の排出量の増減理由を入力します。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

操作 6：「報告書②（取組）」シート入力時の操作手順

次ページ以降の手順については、該当年度のシートを選択し、入力してください。

（第 1 年度、第 2 年度又は第 3 年度）

2 の 1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第 1 年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的の実施し、実施記録を残している。		
4	空調設定温度の管理	空調設定温度がルール化されている。空調を使用している場所の温度が記録されている。		
5	換気設備の適正管理	室内の二酸化炭素濃度を定期的に測定し、許容値を超えない範囲で全熱交換型換気設備を使用している。		
6	空調機器の保全管理	空調機器、換気設備のフィルターを定期的に清掃・交換している。空調機器、換気設備のフィルターの清掃・交換記録がある。		

第 1 年度、第 2 年度又は第 3 年度

> ... 報告書② 第1年度(取組) 報告書② 第2年度(取組) 報告書② 第3年度(取組)

2の1 重点的に実施する取組の実施状況（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況	
			基準年度	第1年度
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。		
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的の実施し、実施記録を残している。	①	②
4	空調設定温度の管理	空調設定温度が管理標準（管理マニュアル）で定められている。空調を使用している場所の温度が記録されている。		
5	空調設定温度の管理	室内の二酸化炭素濃度が定期的に測定されている。室内の二酸化炭素濃度が許容値を超えない範囲で換気量を減らしている。		

- ① 計画書作成時の内容が転記されます。
- ② 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。
基本対策は全項目入力必須です。

基本対策の実施状況に関する説明・特記事項など

第1年度	③
------	---

- ③ 報告年度の基本対策の実施状況について入力します。

2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況			
			基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
1						
2		④			⑤	

④ 計画書作成時の内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

選択対策は任意入力必須です。

2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況			
			基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
1						
2		⑥			⑦	
3						

⑥ 計画書作成時の内容が転記されます。

⑦ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します

その他の対策は任意入力です。

上記入力が完了したら、入力に漏れや誤記がないことを確認し、次の操作に進んでください。

○ 選択対策を追加する場合の入力方法

2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

① 「2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）」の右側にある**選択対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

①

選択対策
項目追加欄へ移動

第2年度追加（選択対策）

1 外部機関による省エネ診断
2 エネルギー使用量の見える化（前年度比較）
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

②

③

選択対策
実施状況欄へ移動

② 追加する選択対策を、プルダウン選択します。

③ 選択対策実施状況欄へ移動をクリックします。

2の2 重点的に実施する取組の実施状況（選択対策）

番号	項目	対策内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	外部機関による省エネ診断	外部機関による省エネ診断を受診している。提案された対策の一部又は全部を実施している。	実施済	未入力	
2	エネルギー消費機器管理台帳の整備	主要なエネルギー消費機器について管理台帳が整備されている。管理台帳が随時更新されている。	一部実施済	未入力	

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

④

⑤

○ その他の対策を追加する場合の入力方法

2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1					
2					

①「2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）」の右側にある**その他の対策項目追加欄へ移動**をクリックします。

①

第2年度追加（その他の対策）

	具体的な取組内容	
1	環境マネジメントシステムの導入 ○○○○○ ...	
2	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組 ○○○○○ ...	
3		

② 追加するその他の対策をプルダウン選択し、具体的な取組内容を記入します。

③ その他の対策実施状況欄へ移動をクリックします。

③

2の3 重点的に実施する取組の実施状況（その他の対策）

番号	項目	具体的な取組内容	実施状況		
			基準年度	第1年度	第2年度
1	環境マネジメントシステムの導入	○○○○○ ...	-----	-----	
2	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	○○○○○ ...	-----	-----	
3					

④ ②で選択した内容が転記されます。

⑤ 各年度の実施状況をプルダウンリストから選択します。

④

⑤

操作 7：「報告書③（任意記載）」シート入力時の操作手順

参考 1 計画期間内に実施した削減対策（詳細）

番号	対策内容	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂ /年)	写真
1				
2				
3				

対策に係る写真があれば
ここに貼付

このシートへの入力は任意です。記載事項がある場合は、赤枠欄へデータを入力します。
対策に係る写真がある場合には、写真欄に貼付します。

担当：仙台市環境局 脱炭素都市推進部

脱炭素経営推進課 グリーン成長係

電話：022-214-8467

メールアドレス：action_program@city.sendai.jp